

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M215	1年	後期	看護学	選択	成人看護学特論Ⅲ	30	2	
						Advanced Study on Chronic & Critical Nursing for Adults			
担当教員									
松井 美由紀		島田 美鈴＊							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
がん看護を深めるための土台としてのがん看護実践における考え方・知識・技術を学び、学んだ専門的知識を用いて日々の看護実践や研究能力を高めることができる。									
到達目標（授業目標）									
①がんを慢性疾患モデルで捉え、命のある限りがんと共存しながらその人らしく生き続けるがんサバイバーの理解や支援について探求することができる。									
②がんサバイバーシップの考え方を理解したうえで、がん患者や家族の理解および看護援助について活用できる諸理論や概念を説明できる。									
③自己の看護体験を学習した諸理論や概念で意味づけることによって今後の実践適用について考えることができる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	がん看護の基盤となる考え方（１）：がんサバイバー、がん患者とQOLを講義する。（島田美鈴）								
2回	がん看護の基盤となる考え方（２）：がん医療と看護倫理、がん患者とコミュニケーションを講義する。（松井美由紀）								
3回	がん看護実践の基本概念（１）：セルフケアについて担当者がプレゼンテーションを行う。（松井美由紀）								
4回	がん看護実践の基本概念（２）：喪失と危機について担当者がプレゼンテーションを行う。（松井美由紀）								

5回	がん看護実践の基本概念（３）：チームアプローチについて担当者がプレゼンテーションを行う。（松井美由紀）									
6回	がん看護実践の基本概念（４）：ヘルスプロモーションについて担当者がプレゼンテーションを行う。（松井美由紀）									
7回	がん看護実践の基本概念（５）：がんリハビリテーションについて担当者がプレゼンテーションを行う。（松井美由紀）									
8回	がん看護実践の基本概念（６）：症状マネジメントについて担当者がプレゼンテーションを行う。（松井美由紀）									
9回	がん看護実践の基本概念（７）：エンド・オブ・ライフについて担当者がプレゼンテーションを行う。（松井美由紀）									
10回	がん看護の専門性（１）：がん看護専門看護師の実際の活動について講義をする。（松井美由紀）（教育協力者：がん看護専門看護師）									
11回	がん看護の専門性（２）：がん看護専門看護師の実際の活動について講義をする。（松井美由紀）（教育協力者：がん看護専門看護師）									
12回	がん患者とゆらぎ：がん患者とゆらぎについて、研究論文や文献を抄読し、ディスカッションを通して看護を探究する。（島田美鈴）									
13回	がん患者と意思決定：がん患者の意思決定について、研究論文や文献を抄読し、ディスカッションを通して看護を探究する。（松井美由紀）									
14回	まとめ（１）：学習したがん看護の基本概念を振り返り、今後の看護実践への活用についてディスカッションを行う。（松井美由紀）									
15回	まとめ（２）：学習したがん看護の基本概念を振り返り、今後の看護実践への活用についてディスカッションを行う。（松井美由紀）									
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
課題レポート（60％）、プレゼンテーション（40％）の評価によって総合的に行う。トータル60点以上を合格とする。										
教科書										
参考図書等		①小島操子ほか日本がん看護学会教育研究活動委員会コアカリキュラムグループ委員翻訳：がん看護コアカリキュラム、医学書院 ②鈴木志津枝・小松浩子監訳：がん看護PEPリソース、医学書院 ③その他、Oncology Nursing Forum、Cancer Nursing、日本がん看護学会誌より文献を紹介する。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
プレゼンテーションはすべて自己学習が必要となる。ただし、所要時間に関しては、個人差がある。プレゼンテーション担当者は、資料を前日までに準備し、配布しておく。担当者以外は、事前配布された資料に読み、討論に参加できるように準備してのぞむ。										
関連科目										
前科目	M106	疾病制御学特論	M202	看護研究方法論Ⅰ	M204	理論と看護実践論	M213	成人看護学特論Ⅰ	M214	成人看護学特論Ⅱ
後科目	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ						
実務家教員										
看護師（医療機関）		松井 美由紀		島田 美鈴＊						
備考		授業内容および順序は、変更の可能性がある。								